



VOL.27 2019年3月

◆発行◆ 社会福祉法人 浴光会

高木 智匡

〒185-0014

国分寺市東恋ヶ窪 4-5-1

浴光保育園

◆編集◆ 藤井 美樹子

朝夜の寒暖の差はありますが、日中の暖かさに春の訪れを感じます。それに比例して、花粉も飛散し始めています。花粉症になるお子様は年々増えており、発症率は大人と変わらないと言われています。(参考：鼻アレルギー診療ガイドライン) この時期に、熱はないのに“くしゃみ”や“鼻水”が止まらない場合は『スギ花粉症』かもしれません。花粉症では、“目のかゆみ”を伴うことが多いので、風邪と花粉症の判別の目安のひとつになります。しかし、鼻づまりの症状は咽頭扁桃肥大や慢性副鼻腔炎が原因であることもあるので、異変を感じたら、医療機関でしっかり診断してもらいましょう。

あと少しで進級、就学を迎えます。0、1歳児クラスのお子様は、お部屋に少しずつ慣れるように、時々進級するクラスに行って遊んでいます。最初は、担任の周りに集まり、お部屋の様子を慎重に見回していましたが、今では、笑顔で好きなおもちゃで遊ぶ姿が見られるようになりました。2歳児クラスのお子様は、お兄さん、お姉さんとのふれあいや、活動を通して、進級への不安を軽減し、期待を高められるよう交流をしています。年長さんは、“友だちって、どうやって作るんだろう？”というお子様のつぶやきから、皆で『友だちの作り方』を話し合うなど、新しい環境に向けて、ほんの少し緊張しながらも、期待を抱き、着々と準備をしています。来年度職員の退職等でご心配をおかけして申し訳ございません。お子様や保護者の皆様が安心して過ごせるよう、職員一同で協力して参ります。よろしくお願いいたします。

3月の誕生会&ひな祭り



3月の誕生会では、2名のお友達と2月生まれのお友達3名のお祝いをしました。今回は、保育士がお雛様を手に取り、名前やひな祭りの由来、意味などを伝えました。お雛様、お内裏様、三人官女…など、どのお人形がどの名前なのか、よく知っているお子様がたくさんいました。普段は一番高い段に飾ってあるお雛様を間近で見る事ができ、『きれいだね』『かわいいね』という声があがっていましたよ。昔から歌い継がれている“うれしいひなまつり”も、難しい歌詞ですが、よく覚え、上手に歌っていました。日本ならではの季節の行事や伝統を、受け継いでいきたいですね。



作品展

2月9日（土）～16日（土）の一週間、お子様の作品を展示し、あひる組さんから、年長さんまで、個性豊かな作品をご覧いただきました。各クラスとも、お子様が様々な素材に触れる経験や、表現する楽しさを味わって欲しいという思いを持って、各年齢の発達に合った作品作りを心掛けてきました。『これ、僕が作ったんだよ！』と自分の作品をご家族の方々に見て頂き、褒められて喜ぶ姿や、入り口のお菓子の家にクッキーを飾り付けるのを楽しみにする姿など、毎日、お子様やご家族の色とりどりの表情を垣間見る事ができ、私たち職員にとっても、心温まる時間となりました。ご参加、ご協力ありがとうございました。



3月の行事予定

- 1日（金）ちゅーりっぷ組バス遠足
年長お別れ遠足
- 5日（火）年長お別れ遠足予備日
- 6日（水）M.A.T.年長
- 7日（木）誕生会
- 13日（水）乳児健診（0歳児）
- 14日（木）お別れバイキング（幼児）
- 17日（日）卒園式
- 22日（金）クラス移動（新クラスに移動）
- 27日（水）乳児健診（0、1歳児）



4月の行事予定

- 1日（月）入園式
- 10日（水）乳児健診（0、1歳児）
- 17日（水）M.A.T.年長
- 18日（木）誕生会
- 23日（火）M.A.T.年少
- 24日（水）全園児健診、M.A.T.年中
- 25日（木）ふれあい会（ほし・にじ）



お知らせ

- 年長のお子様は就学準備として、3月上旬からは、お昼寝をせずに、園庭で戸外遊びをした後、簡単なワーク等をして過ごしています。ご家庭とも連携を取り、体調の変化等に注意しながら進めて参りますので、ご協力お願いします。
- 現在、幼児クラスでは、パジャマに着替えてお昼寝をしていますが、災害が発生した際の避難を考慮し、来年度からは洋服で布団に横になり、休息を取るように変更します。それに伴い、**3月25日（月）からパジャマは不要**になります。これまで、パジャマのご用意やお洗濯などのご協力ありがとうございました。

編集後記

この間新年を迎えたばかり！と思っていましたが、あっという間に3月になってしまいました。新しい環境は、お子様だけでなく、大人も不安を感じるものですね。お子様達、保護者の皆様、そして、保育園の職員、それぞれの気持ちに寄り添い、今後も笑顔があふれる保育園となるよう、これまで以上に頑張っています。心配な事がございましたら、いつでもお声かけください。よろしく申し上げます。

副園長 内堀 真紀